

正福寺報

令和元年秋彼岸号

臨濟宗 円覚寺派
住職 松原 行樹
TEL 045-811-3800
FAX 045-811-6304
shouhukuji@nifty.com

〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町 3 4 0

<http://shouhukuji.com/>

人心受け難し

正福寺住職 松原 行樹 ぎようじゆ

「じんしん、うけがたし」

私たちは人間としてこの世に生を受けております。

しかし、人間としてこの世に生を受けることが素晴らしいことであることに気づいている方はどのくらいいらつしやるでしょうか。

お釈迦様がある時、弟子のアナンさんと歩いていらつしやいました。するとお釈迦様は歩を止め、しゃがんで土をつかみ、上から手の甲に土をおかけになつて、

「大地の土とこの爪の上に乗っている土はどちらが多いか」

と、お尋ねになりました。

アナンさんが「大地の土です」と返答すると、

「そうだ。この世には大地の土の

数ほど命が生まれてくるが、人間としてこの世に生を受けることは、爪の上の土のようにわずかなことである。有り難いことであるぞ」と、お示しになつたというお話があります。

「有り難い」、つまり有ることが難しい、滅多にない、稀なことということです。これが私たちが平生使っている「ありがとう」の語源です。今、私たちはお互いに、その有り難い人間としてこの世に生をいただいているのです。

だからこそ、自分を大切にし、そして周りの人をも大切に、少しでも心豊かに過ごしていくことが、この命をいただいたご先祖様に恩返しをするということではないでしょうか。